

建設局職員不祥事防止委員会における再発防止策

1 再発防止策（※印は、「(資料1)コンプライアンス推進(不祥事防止)のための新たな取組」と重複)

(1) 情報漏えいリスクの低減

再発防止策	取り組み内容	
①総合評価落札方式の運用見直し (※)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 技術評価点の算出に必要な書類の提出締切と入札締切を同日とし、締切後に技術評価点の算出・決定を行うことで、入札金額を調整できないようにする。 ▶ 技術評価点の算出にあたっては、すべてを工事担当課が行うのではなく、工事担当課が施工実績等の評価を行い、技術審査会に関する事務を担当する課が過年度の成績等の評価を行うことにより、工事担当課への情報の集中を低減する。 	新規
②設計書等の情報閲覧の制限	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 設計書等の電子データを保管する際はパスワードを設定し、また、電子決裁に添付する際は「印刷不可」となるように設定する。 ▶ 内容確認等のため紙面が必要となった場合には、元の電子データから印刷することとし、適切に保管・処分を行う。 	新規
③執務室への来訪者の入室管理 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 執務室内で打ち合わせ等を行う際には、「来訪者受付票」を記入してから行うようにし、来訪者の入室管理を強化する。 	拡充
④個人所有の携帯電話の原則使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 現場対応用携帯電話の整備を検討する。 ※導入対象課、導入方法、導入時期等 ※導入までの間は、工事等の完了・竣工検査時に検査員立会いの下、受発注の監督員等双方の電話番号等の連絡先を消去する。 	拡充

(2) 継続的なコンプライアンスの強化・徹底

再発防止策	取り組み内容	
①局内の部課長研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コンプライアンス関係のビデオの視聴及び今回の不祥事の経緯を共有し、ディスカッション等を行うことで意識向上を図る。 ▶ コンプライアンス違反のリスクがイメージできる教材を使用した研修を行う。 	新規
②各課コンプライアンス研修への幹部職員の参加	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各課でのコンプライアンス研修の実施に際し、適宜、所属長の上司を同席させ緊張感を持たせることで、研修の形骸化を防ぐ。 	拡充
③現在実施されているコンプライアンス研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 対象者を絞った研修、平成28年8月「建設工事等に係る発注者の綱紀保持に関する手引き」の改訂や具体的な事例集など新しい研修の教材を作成し、研修効果の向上を図る。 	拡充
④「コンプライアンスチェック」ペーパーの改訂	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コンプライアンスチェックペーパーを、インパクトのあるデザインに改訂し、目に付く場所を考えて課内に掲示を行う。 	拡充
⑤取引業者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公契約関係競売入札防止法違反の防止策の検討を申し入れる。 ▶ 総合評価落札方式におけるペナルティを強化する。(※) 	新規

(3) チェック体制の強化

再発防止策	取り組み内容	
①局内他課による コンプライアンスに関する相互 チェック	▶ 聞き取り用のチェックシートを使って、課の再発防止策の実施状況を局内の別の課がチェックを行い、実施状況を検証することにより、コンプライアンス意識の持続を図る。	新規
②建設局職員不祥事防止委員会の 定期的な開催	▶ 相互チェック等の検証結果を報告し、今後の再発防止策の取り組み内容等を検討する。	拡充

なお、従前より取り組んでいる以下の項目については継続して実施する。

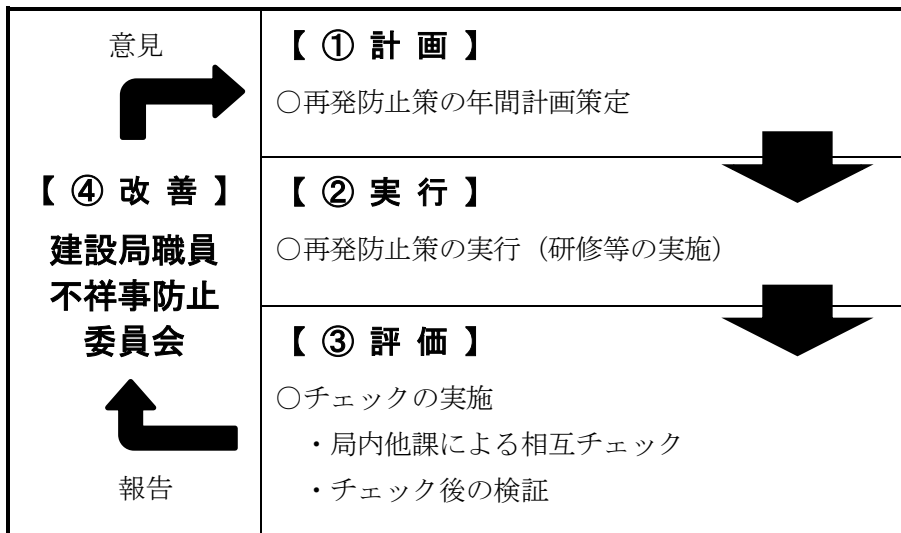
- ▶ 設計書等、機密性の高い書類は施錠可能なロッカー等へ保管する。
- ▶ 不要な機密文書は適正に処分する。
- ▶ 離席時に設計書等は伏せるとともに、パソコンの蓋閉じを徹底する。

2 再発防止に向けた取り組み体制について

コンプライアンス意識を持続させるために、以下のとおり取り組む。

- ① 再発防止策の年間計画を策定する。
- ② 年間計画に基づき、研修等を実施する。
- ③ 局内他課による相互チェックを実施し、結果を検証する。
- ④ 検証結果を建設局職員不祥事防止委員会へ報告し、委員会にて翌年度の取り組みについて検討する。

再発防止に向けた取り組み体制



*①～④のサイクルを回すことで、再発防止に向け継続的に取り組む。